

交通のご案内

- JR予讃線・伊予西条駅下車
↓
- せとうちバス「西条済生会病院前」行き、もしくは「グラン経由 新居浜駅」行きに乗車
↓
- 「西条済生会病院前」バス亭下車すぐ

関連施設

社会福祉法人 済生会西条老人保健施設いしづち苑
〒793-0027 西条市朔日市269-1
TEL(0897)53-1155 FAX(0897)53-2815

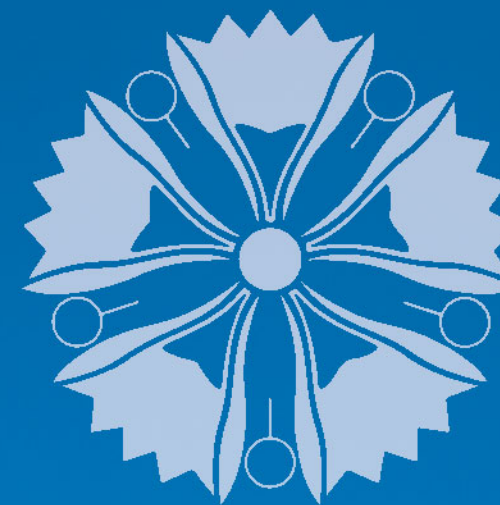
社会福祉法人 済生会西条特別養護老人ホーム
〒793-0028 西条市新田109-1
TEL(0897)55-5130 FAX(0897)53-0340

社会福祉法人 済生会西条訪問看護ステーション
〒793-0028 西条市新田109-1
TEL(0897)55-5125 FAX(0897)53-0340

西条市地域包括支援センター 西条北部(委託)
TEL(0897)55-5359 FAX(0897)47-5001



社会福祉法人
恩賜財団 済生会西条病院
〒793-0027 愛媛県西条市朔日市269-1
TEL(0897)55-5100 FAX(0897)55-6766
<https://www.saiseikaisaijo.jp/>



社会福祉法人
恩賜財団 済生会西条病院

SAISEIKAI
SAIJO
HOSPITAL



地域の公的中核病院として
 保健・医療・福祉の向上を目指し、
 今までもこれからも
 地域の皆様とともに。



病院運営の理念

私たちは済生会創立の
 「救療済生」の精神に基づき、
 地域の人々に
 質の高い、安全な、温かみのある
 保健・医療・福祉を提供し、
 地域社会に貢献します。

基本方針

1. 地域の公的中核病院として、最新の医療設備に裏づけされた質の高い安全な医療と心のこもったサービスを提供します。
2. 患者さんの人権を尊重し、情報を十分提供し、インフォームドコンセントに基づいた患者さん中心の医療を行います。
3. 救急医療の2次病院として、24時間体制で対応します。
4. 開放型病院として、地域の医療機関との相互協力を積極的に行い、地域の基幹病院としての役割を担います。
5. 愛媛県の他の医療機関と協力して、臨床研修病院の役割を担います。
6. 地域の医療福祉活動(生活習慣病検診、済生丸による離島の巡回診療、減免診療、老人保健施設、訪問診療・訪問看護等居宅サービス事業、居宅介護支援事業、健康教育など)に努め、保健・医療・福祉を総合した診療体制を充実させます。
7. 患者さんの立場に立った、安全で良質な医療を提供するため、常に職員の研修・教育を行い、自己研鑽に努めます。
8. 職員が誇りを持って働ける、明るく楽しい職場づくりを目指します。
9. 職員全員がコスト意識を持ち、健全経営を行います。
10. 国際緊急援助隊への参加、災害時医療・ケア支援チーム(DMAT・DCAT)への参加、中国の友好病院との交流など、対外的な活動も行ってゆきます。



名誉院長
常光 謙輔



名誉院長 兼
西条医療福祉センター長
岡田 真一



西条医療福祉センター
相談役
長 櫓 巧



済生会西条病院 院長
石井 博

【地域の基幹病院】

地域の医療機関との相互協力を行い、 基幹病院としての役割を担います。

開放型病院として、地域の医療機関との相互協力を積極的に行い、地域の基幹病院としての役割を担います。地域の医療福祉活動(生活習慣病検診、済生丸による離島の巡回診療、減免診療、老人保健施設、地域包括支援センターの運営、訪問診療・訪問看護等居宅サービス事業、居宅介護支援事業、健康教育など)を総合した診療体制を充実させます。



薬局

最近、多くの病院で医薬分業が進んでいますが、当院ではお薬をお渡しするまでが診療と考えています。お薬に関することは、お気軽に薬局までお問い合わせください。



外来

当院外来では患者さんが安心して診察や検査、治療が受けられ、また在宅療養できる看護を行っています。



ナースステーション

各病棟のナースステーションでは療養中の患者さんやそのご家族の心の支えとなり、安心した療養生活を支援します。



ホール



会計



当院受付では診察、お見舞い、健康診断など様々な目的に合った案内を心掛けていますので、来院時お気軽にお声かけ下さい。



がん治療から、患者さん、ご家族の心のケアまで。



【がん医療】

適切ながん医療をチームで提供

各医療スタッフが連携・協力し、患者さんにとって最適な治療を提供していきます。

3大療法(手術・化学療法・放射線治療)を中心に、患者さんにとって最適ながん医療を一緒に考え、支援できる体制を整えています。

PET-CT

PET-CT検査では、ブドウ糖に類似した特殊な薬(18F-FDG)を注射して薬から放出される放射線を利用し、薬の分布を画像にします。正常な細胞に比べてがん細胞はより多くのブドウ糖を取り込むことが多いため、腫瘍が薬の集まりとして描出されます。CTの検査と合わせることで、がんの部位、大きさ、進展度、悪性度の診断と転移の発見などに威力を発揮します。



マンモグラフィ

トモシンセシス(3Dマンモグラフィ)撮影を備えた最新鋭の装置を導入し、乳がんをより早期に発見することが可能です。

当院では医師、技師、施設ともに「マンモグラフィ検診精度管理中央委員会」からの認定を取得しており、高水準の検査、診療が可能です。

撮影は女性技師が行っていますので安心して検査を受けていただけます。



外来化学療法室

治療を受けられる患者さん・ご家族の方が、安心して治療を受けていただけるように、治療前に個別に治療室看護師による説明を行ない、不安軽減に努めています。

療養中の身体の調子やご自宅での様子を伺い、治療や副作用、気がかりなことを専門的な知識を持ったスタッフがチームとなり、療養生活をサポートしています。



放射線治療

放射線治療は、外科手術や化学療法(抗がん剤治療)とともに、がん治療の三本柱の一つとして重要な役割を担っています。

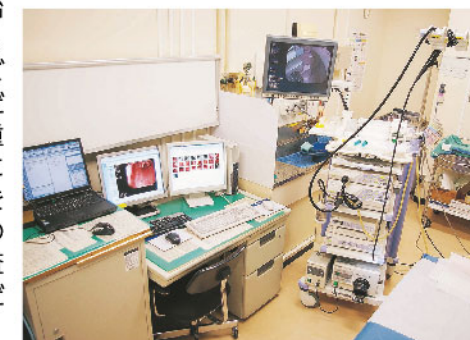
放射線治療を行うことにより、がん細胞を障害し分裂を抑えて、がんを縮小または消失させることが出来ます。最大の特徴としては、切除することなく治療が可能のため身体の様々な部位も治療の対象となり、機能および形態の温存に優れた体への負担の少ない低侵襲な治療が行えます。



内視鏡

消化管の内視鏡検査においては、電子内視鏡システムや拡大内視鏡による狭帯域光観察を用いることで、表在がんなどの早期発見、早期治療が可能です。

皆様に安全にご利用いただくために、厳重にマニュアルの通り洗浄を行っていますので安心して検査をお受けいただけます。



鏡視下手術

鏡視下手術は、従来の手術に比べ、非常に小さな傷で手術を行うため、術後の痛みが軽く身体への負担も少なく術後スムーズに食事を摂取することができます。



365日24時間体制で 地域の救急医療を担います。



【救急医療】

最新の設備と充実したスタッフ

地域の二次医療機関として、「救急医療」は大きな使命の一つです。生命の危機に瀕した患者さんに対して、一刻も早く適切な医療を提供いたします。そのために当院はHCU(ハイケアユニット)を有し、7対1の看護体制で最新の設備と充実したスタッフで24時間体制の診療を行っています。

救急処置室

地域の二次救急を担っており、内科系、外科系担当医が待機しており、救急時には各科と協力して救急患者の対応を行っています。救急患者並びに救急車は24時間体制で受け入れます。



手術室

患者さんが少しでも落ち着いて手術していただけるように音楽を流しています。また、関節や脳の手術では、感染を予防するために垂直層流式クラス100のクリーンルームを使用し、無菌的に手術を行います。



ハイケアユニット(HCU)

全身麻酔手術後や呼吸、循環、代謝その他の重篤な急性機能不全の患者さんに対し、集中的な治療と看護を行う高度治療室です。様々な監視モニター、点滴ライン、人工呼吸器などに囲まれた特殊な環境のもと、早期に回復できるよう安全・安楽な看護を提供しています。



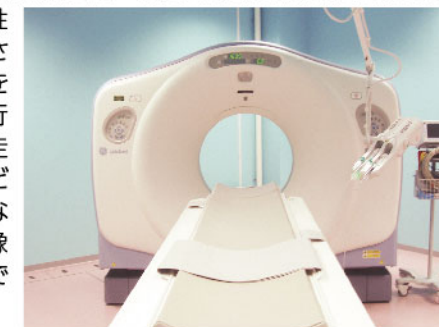
透析センター

37台の透析監視装置を用いて、1日60人まで人工透析を行っています。昼間働いている地域の方々のために夜間透析や緊急透析にも対応しています。



CT装置

GE社製64列のMDCTを使用しており、X線を用いて頭蓋内、臓器、骨などを撮影し、目的部位を任意の角度・スライス面で診断できるように画像再構成を行います。また、造影剤(目的となる臓器のX線透過性を意図的に変化させる有機化合物)を使用した検査を行うことで、血管の走行・臓器内血流などの評価が可能となり、より詳しく画像診断を行うことができます。



MRI(核磁気共鳴画像診断装置)

人体内の原子エネルギーを画像化して、発症後1時間以内の急性期脳梗塞範囲や外傷による脊椎損傷、靭帯損傷などの診断に適しています。検査を行う際はレントゲン撮影やCT検査で使用するような放射線を必要としないので繰り返し検査が可能で、強力な磁石を使用しているため身に着けているものなど持込み物には細心の注意を払った上で安心して検査を受けていただけます。



血管造影撮影室

体内にカテーテルを挿入し、心臓・脳・腹部・四肢など全身の血管を撮影することができます。血管が狭窄した部位の治療(バルーン拡張術・ステント留置術などの血管再建)や動脈塞栓術、ペースメーカー埋込み術などを行います。



【良質で安全な医療】

人材の育成・教育・ チーム医療を充実させ、 安全・適切・良質な 医療を提供します。

複雑化する医療を安全に
提供するために
医療スタッフの教育研修や
実習を推進し、
人材の育成活動を
積極的に行っています。
スタッフは正確な知識を
得ることを目標に掲げており、
教育に力を入れています。



認定看護師

特定の看護分野において、
熟練した看護技術と知識を用
いて水準が高い看護を実践し
ており、患者さん、ご家族、ス
タッフからの相談に対して指導
を行っています。院内でのチ
ーム医療における調整役も担
っており、看護ケアの拡大と質の
向上を図ります。



臨床研修



臨床研修の目的は、初期研
修医が医師としての人格をか
ん養い、将来専門とする分野
にかかわらず、医学および医
療の果たすべき社会的役割を
認識しつつ、基本的な診療能
力を身につけることにありま
す。当院は、基幹型臨床研修
病院として、後期専門研修へ
の橋渡しとなるよう、主に内
科・循環器内科、外科、整形外
科、眼科、泌尿器科、歯科口腔
外科で研修を行っています。

栄養サポートチームについて

平成14年から栄養障害の危険性のある方を早期に発見し、
医師、歯科医師、管理栄養士、看護師、薬剤師、理学療法士、作業
療法士、言語聴覚士などで構成されたチームにより、栄養状態や
口腔内状態の改善とリハビリテーションなど総合的に治療を
行っています。



医療安全管理部

医療安全に関する院内の情報収集・分析および実態調査を
行い、医療事故等の再発防止策の検討を行っています。
また、各種マニュアルの作成や最新の医療安全情報を収集し、
職員への周知徹底を行い、本院の医療安全を推進する役割を
担っています。専従の医療安全管理者を中心として多職種のス
タッフが活動しています。



医療感染対策

感染制御医師2名、感染管理認定看護師、感染認定薬剤師、
細菌検査技師が、ICT(感染対策チーム)の中心となり、病院内
の感染予防・防止活動を実践しています。入院患者さん、ご家族
の方にも安心して医療を受けていただくために院内感染発生
を制御し日々の感染対策改善に心がけています。



看護師新人研修

社会人1年目の看護師新人研修では、社会人としての自覚を持ち、
日常生活援助のための基礎知識・技術・態度を身に付け、ベッ
トサイドケアが安全に実施できることを目的に実施しています。



BLS講習

心肺停止に対する初期対応やAEDを用いた心肺蘇生法、窒
息の解除方法の講習会を行っています。目の前で急変した傷病
者に対して緊急で救命処置を行うことができるよう、全職員定
期的にBLS実技研修を行っています。



緩和ケアチーム

重い病(がん)を抱える患者さんとその家族一人一人の身体
や心などのつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることがで
きる支援を行っています。患者さんの身体的・精神的・社会的・
スピリチュアルな苦痛について、つらさを和らげる医療やケア
を行い、患者さんと家族が自分らしく過ごせるように、医師、看
護師、薬剤師等各分野の専門の医療スタッフが、いろいろな場
面で幅広いサポートを行っています。



糖尿病教室

日本糖尿病学会専門医・糖尿病看護認定看護師・日本糖尿
病療養指導士を中心に管理栄養士・看護師・薬剤師・臨床検査
技師・理学療法士・作業療法士が担当して毎月開催しています。
ご家族の方もご一緒に糖尿病についての知識や体験を共有
し、学ぶことができます。



【医療・介護連携】ネットワーク構築の積極的な推進

地域の医療・介護施設と連携を強化し、適切で迅速な医療を提供します。

地域の医療機関、クリニックと連携し、公的医療機関として地域医療を担います。併設する老健、特養とも情報を共有し、救急医療から在宅医療までシームレスに提供していきます。



地域連携室

地域の先生方からご紹介いただいた患者さんの待ち時間を、少しでも短くするために受付・各科への案内対応からさせていただいております。「何科宛てに紹介するのがいいか確認したい」等の問い合わせ、緊急時の受け入れ対応、検査依頼、転院の受け入れ調整まで院外・院内での連携がスムーズに行なえることを目指しています。



入退院支援室

予約入院となる患者さんが安心して入院生活を送ることが出来るよう、入院前から専任の看護師、事務員をはじめ多分野の専門職が関わり患者さんの診療を支援します。



医療相談室 医療ソーシャルワーカー

急な病気やけがで起こるさまざまな生活のご相談や退院に関するご相談などに対応しています。費用のこと、介護保険や福祉制度のこと、がんに関する相談や転院に関する事など、ご心配なことがありましたらお気軽にご相談ください。



回復期リハビリテーション病棟

脳卒中などの脳血管疾患や大腿骨などを骨折された患者さんが、急性期病棟で治療を受けた後にスムーズに在宅復帰できるよう、日常生活動作(ADL)の改善を目的としたリハビリテーションを集中的に行います。



【健診】充実したプラン

時代のニーズに応える質の高い医療

～あなたとご家族の未来を守るために～

生活習慣病予防健診からがん検診まで各種健康診断を行っています。長い人生を健康に、そして心ゆたかに過ごすためには、日々の健康管理が大切です。当院では人間ドック、PET-CT検診を中心に疾病の早期発見・予防に力を注いでいます。

健康診断各種コースのご案内

プレミアムコース	人間ドック・PET-CTがん検診・脳ドックの全てが組み込まれたコースです。
人間ドックA(1日コース)	1日で全身をくまなくチェックします。
人間ドックB(2日コース)	Aコースに糖負荷検査、肺機能検査、動脈硬化度(ABI)検査、栄養指導を追加したコースです。
脳ドック	脳のトラブルを早期発見、健康状態を診断するドックです。
当院オリジナル	協会けんぽの生活習慣病予防健診に合わせたコースです。
乳がん検診	マンモグラフィー撮影では、トモシンセシス撮影も行っています。
PET-CTがん検診	がんの早期発見を可能にする医療技術で、全身をスクリーニングします。

検診センター

一般検診、特定健診、人間ドック等の検診者に対して、心電図、超音波検査、胸部X線、胃内視鏡検査等の精密検査が専用フロアで、ゆったりと安心して受けて頂けます。



健康セミナー・市民公開講座

地域の皆さまが健康に生活するためのお手伝いをしたい。そんな思いから市内の公民館等で病気の予防や食事・運動について、すぐに実践できる内容をわかりやすく丁寧にお話しています。気軽に質問ができて好評です。



【病院概要】愛と希望の済生会

社会福祉事業を積極的に推進。 「施薬救療(せやくきゅうりょう)」の精神は 現在へと引き継がれています。

無料低額 診療事業

低所得者など一定の条件を満たした方には、医療費自己負担額を無料または減額を行っています。低所得者以外にも、DV(ドメスティックバイオレンス)被害者・失業者・被災者の方もこの事業の対象となります。

なでしこ プラン

済生会生活困窮者支援事業(なでしこプラン)の一環として、ハローワークで無収入者や生活困窮者に対して健康相談や、山間部などの限界集落に暮らす人たちの健康を守るために公民館等で健康教室を開催しています。また職業訓練生を対象とした健康相談やBLS(一次救命措置)研修も行っています。

済生丸による巡回診療・検診

済生会の創立50周年の記念事業として昭和37年から瀬戸内4県(岡山・広島・香川・愛媛)の済生会各病院が瀬戸内海に浮かぶ63の島々を巡回して診療・検診にあたっています。当院では現在毎年5月、7月に行われる宇和海の合同診療に参加しています。



瀬戸内海巡回診療船

現在の「済生丸100」は、平成26年1月から就航し、船内にはX線テレビ装置、乳房撮影装置、超音波骨密度測定装置をはじめ自動化学分析装置などの各種臨床検査機器や内科、婦人科、眼科診療等に必要各設備機器が装備されており、「海をわたる病院」としての機能を備えています。また、体の不自由な方のためにエレベーターも設置しています。



健康相談

近隣のハローワークで求職者や相談来訪者を対象に健康・医療相談会を実施し、また職業訓練生等を対象に健康診断結果に基づく健康相談等も行っています。



無料低額診療事業

地域で開催される産業祭や文化祭、公民館の健康教室等で無料低額診療事業の相談や広報活動を行い、地域住民の健康で豊かな生活を支援しています。



いのちをすく 生を濟う道を歩んでいきます。

1911年(明治44年)、明治天皇の「済生勅語」により
設立された済生会。

私たちはその「生活困窮者へも
十分な医療を」という精神を受け
継ぎ、みなさまへ医療と福祉
を提供していきます。



総裁 秋篠宮皇嗣殿下



明治天皇

病院概要

名称 社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院
所在地 〒793-0027 愛媛県西条市朔日市269番地1
建物 地上7階、地下1階
電話番号 (0897)-55-5100【代表】
FAX (0897)-55-6766
開設日 昭和33年4月1日
病床数 152床
一般病棟入院基本料7:1 122床
HCU 4床
感染症病床 2床
回復期リハビリテーション病棟 24床
診療科目 内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、
神経内科、血液内科、女性内科、外科、血管外科、
整形外科、消化器外科、脳神経外科、
ペインクリニック外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、
放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、
病理診断科、歯科口腔外科
主な指定 公的医療機関
救急指定病院
DPC対象病院
愛媛県がん診療連携推進病院
臨床研修病院
厚生労働省指定医師臨床研修病院
厚生労働省指定歯科医師臨床研修病院

済生会西条病院の歴史

昭和33年 赤松外科病院から建物、施設等の寄付を受け、
済生会西条病院と改称し開設
昭和35年 新病院新築(鉄筋2階建2棟)
昭和38年 済生丸による巡回診療開始
昭和40年 病院増改築(鉄筋4階建1棟、鉄筋2階建1棟)
昭和52年 救急告示病院指定
昭和61年 新病院新築移転
昭和62年 開放型病院の承認
平成5年 老人保健施設いしづち苑併設
平成14年 病院東棟増築(鉄筋5階建1棟)
平成19年 病院南棟増築(鉄筋3階建1棟)
平成22年 DPC病院移行
平成23年 愛媛県がん診療連携推進医療機関認定
平成27年 西条特別養護老人ホーム併設
平成30年 歯科医師臨床研修施設認定
令和3年 西条市地域包括支援センター西条北部開設
令和4年 医師臨床研修施設認定
令和5年 病院本館建設(鉄骨7階建1棟)
令和6年 病院旧館増改築



赤松外科病院



旧病院(昭和40年頃)



旧館竣工時



新本館令和5年